

Timee

チームトポロジーに対応する QAアプローチのご紹介

株式会社タイムー

VPoE 赤澤 剛

Process & Quality Enabling GM 小林 依光

目次

- エンジニアリング組織の紹介
- QAコンセプトの紹介



Timee

エンジニアリング組織の紹介



エンジニアリング本部

VPoE

赤澤 剛

(Go Akazawa)



経歴

2009年に株式会社ワークスアプリケーションズに入社、ERPパッケージソフトウェアの開発及びシンガポールでのR&D組織の強化、海外企業向け機能開発に従事。

その後、LINE株式会社での新銀行設立プロジェクトを経て2020年よりUzabaseグループにジョイン、同グループにて2021年よりアルファドライブ 執行役員CTO、2023年よりNewsPicks for Business 取締役役に就任、BtoB SaaSやメディアサービスの開発を行う。

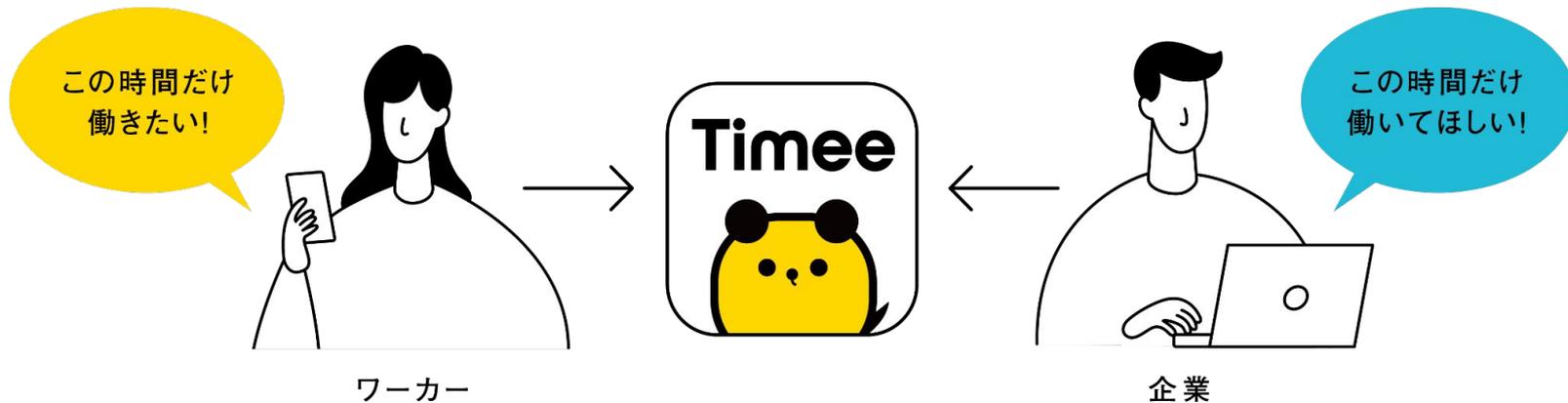
2024年2月より株式会社タイミーに入社し、VPoEに就任。

タイミーとは

Timee

従来の「求人サイト」でも「派遣」でもない

「働きたい時間」と「働いてほしい時間」を マッチングするスキマバイトサービス



タイミーの実績

利用率・リピート率

※1

スキマ
バイト **No.1**

導入事業者数 **98,000** 企業

ワーカー数 **700万人**

※2024年2月時点 ※1 [調査方法]インターネット調査 [調査期間]2021年2月9日~11日 [調査概要]スキマバイトサービスの実態調査 [調査対象]直近1年以内にスキマバイトを経験したことがある18~69歳の男女1034名 [調査実施]株式会社マクロミル

Timee



Vision

一人ひとりの時間を豊かに

「人生の時間は有限である」

これは代表の小川が尊敬していた祖父の急逝をきっかけに得た教訓です。有限だからこそ時間をより価値あるものにする方法をすぐに見つけられ、すぐに実行できる世界をつくりたい。この思いから、時間を豊かにする選択肢の一つとして、好きな時間に働ける「タイミー」が着想されました。私たちは「働く」に留まらない多様なアプローチで、一人ひとりの時間が豊かになるきっかけを提供していきます。



Mission

「はたらく」を通じて 人生の可能性を広げる インフラをつくる

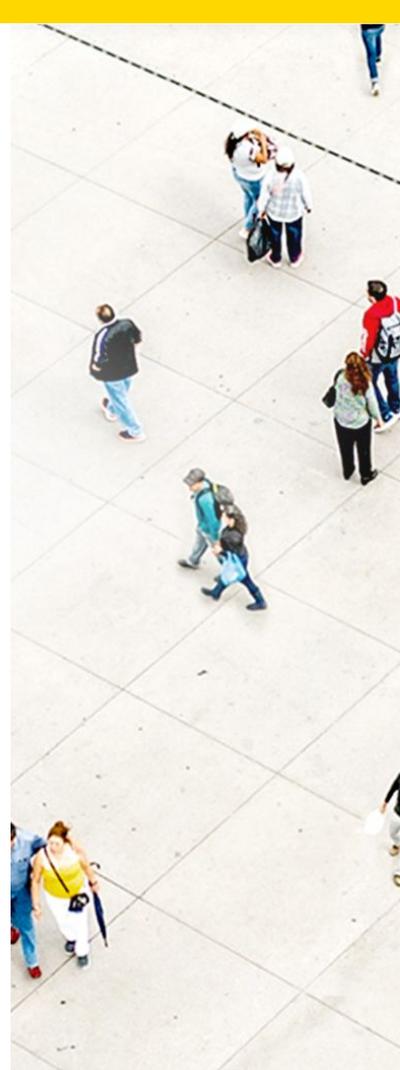
時間にとらわれず、好きな場所で、好きな仕事を。

少し前には考えられないような自由な働き方を、タイミーは提供しています。

この新しい「働く」は、ただ自由であることにその魅力を留めません。

「働く」を通じた、多くの人との出会いと経験の積み重ねは、自分自身の新たな価値を発見し、可能性を広げる糧になると私たちは信じています。

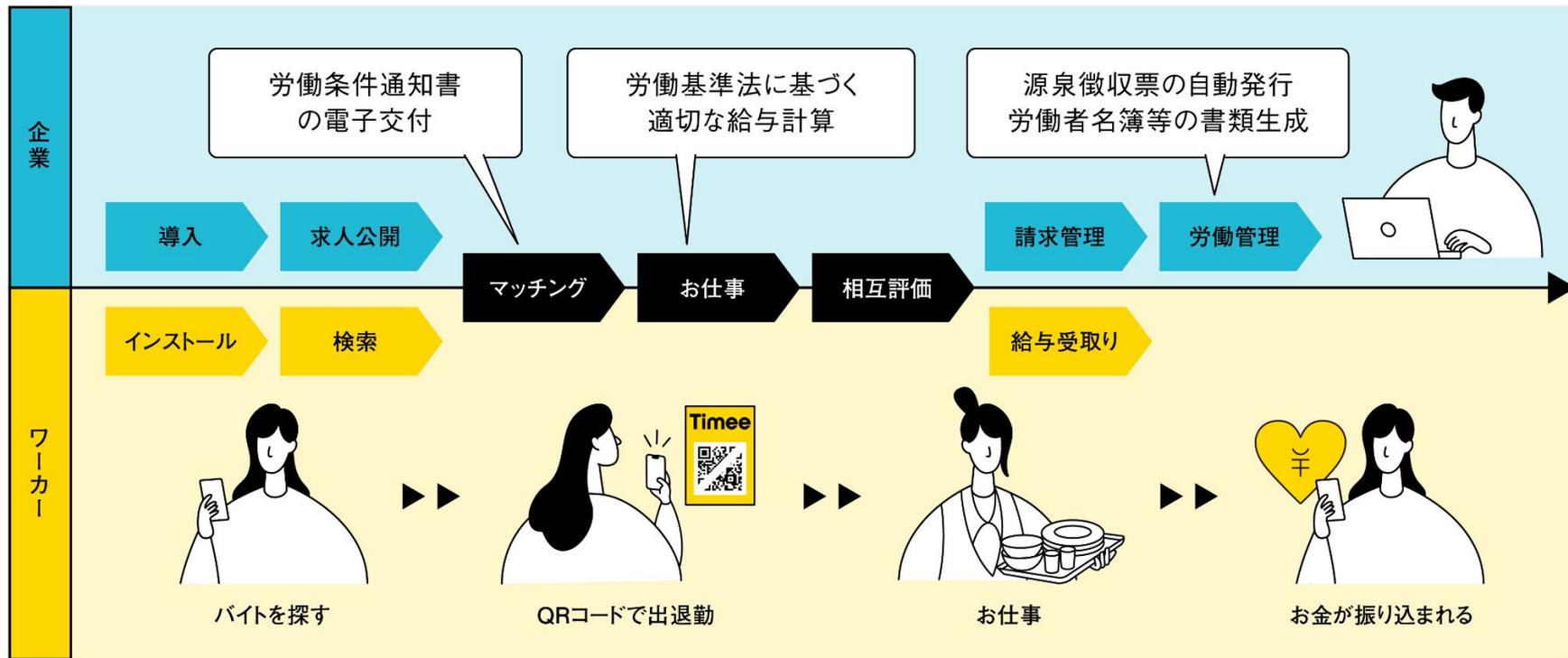
タイミーは、新しい「働く」インフラとして、一人ひとりが自分の可能性を広げていける社会を目指します。



タイミーの使われ方

Timee

働き手と雇い手がいるBtoCプラットフォームを提供しています。外からは見えづらいですが、スポットワークを実現するための雇い手の手続きや課題は多く、そのプロセスのほとんどをシステム化しています。



エンジニアリング組織において大切にしていること

Timee

自律的で小さなチームを実現するために、以下のことを大切にしています。

技術軸ではなく、バリューストリーム(顧客価値)でチームを構成し開発しています

フロントエンドからSREのレイヤまでひとつのチームで解決できるような形を取り、バリューストリームに対してフルサイクルでDevOpsを実行できることを目指し、開発を行なっています。

スクラムガイドの考え方をベースに、各チームが自律的な運用を目指しています

①チームが強いGoalを持つこと②ダブルループフィードバックが回ること、の2つを重視してチームを運用しています。スクラムのプラクティスは目的や仮説を持って必要に応じて取り入れ、各チームで検査及び適応を行い最適化を目指します。そのため専任のスクラムマスターも登用しています。

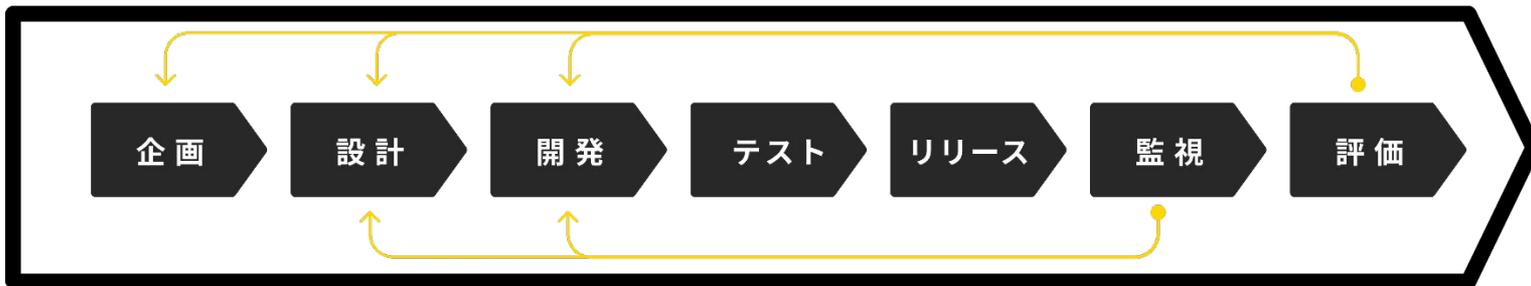
顧客価値を素早く、安定して届けるチームを目指す

Timee

ある価値提供する継続的な流れ(バリューストリーム)を対象として、
価値を届けることに集中するチーム(ストリーム アラインドチーム)を作る。

顧客価値を届ける速度を自律的・高速で行えるチーム構成

取り組んだ成果/品質が、次の取り組みに対してしっかりフィードバックがかかる仕組み



8名±4名の職能横断的なチーム



組織と開発体制

タイミーでは、「会社組織」と「価値創出としてのチーム」の責務を分離して日々の開発を行なっています。

「会社組織」としての組織

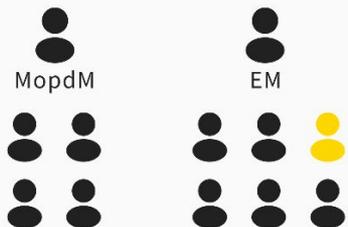
スキル・キャリア・Well-beingの支援を実現する
副次目的として、決裁（お金の使い方）に関して統制を取る

プロダクト本部



タイミーで起きる挑戦と
個々人のライフステージに寄り添った
キャリアの最適化を目指す

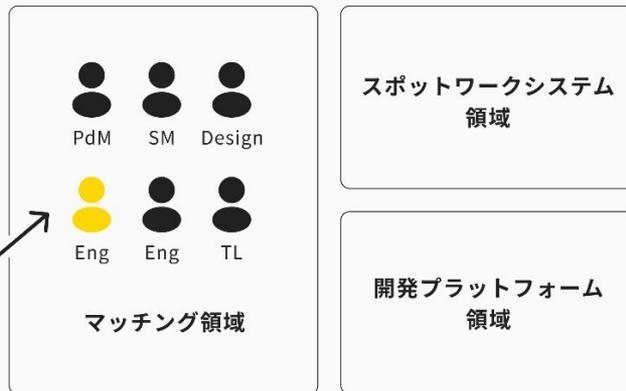
Mgrは兼任ではなく専任を基本にする



チームにも
組織にも
所属する

価値創出を目的としたチーム

プロダクト・技術に持続可能な顧客価値を
スピードを持って実現する



OKRなどを用いて、チームで成果を追求アジリティの高い開発を目指す

プロダクト開発組織の全体像

Timee

指標で計測可能なビジネスドメインごとに、組織の分割を進めています。

プロダクト戦略

顧客価値の戦略

どのような顧客にどのような価値をどのような時間軸で届けるのかの方針/ロードマップ
経営の中期計画・営業戦略・マーケティング戦略と接合

開発体制

顧客戦略に基づきマッチングの質と量をコントロールする

顧客戦略に基づき適切なタイミング/優先順位で顧客に必要な機能を追加する

マッチングTribe

出会いを最適化しスケールさせる

重要指標：稼働率

スポットワークシステムTribe

スポットワークの手続きの全てをなめらかにする

重要指標：信頼性

開発プラットフォームTribe

プロダクト開発を技術で支援する

キーワード:

QA / SRE / DRE / 開発基盤

Platform と Enabling を使い分ける

Timee

QA領域の場合...

Platform性

- 品質分析(観点カバレッジやDDPモニタリングなど)の実施障害分析
- SET Infra の提供
- SET ライブラリの開発など

Enabling性

- SET Infra やライブラリの利用浸透
- 品質改善の推進

タイミーでは「QAチーム」ではなく「QA Enablingチーム」と呼称しています。

- QA Enablingチームは、Center of PracticeとしてQA領域の戦略と浸透を担う
- 各SAチームは、バリューストリームに沿い、独立自走して顧客への価値提供を行うためにQA戦略を理解し、戦術の実行を担う

Timee

QAコンセプトの紹介



エンジニアリング本部

Process & Quality
Enabling G GM

小林 依光

(よりみつ)



経歴

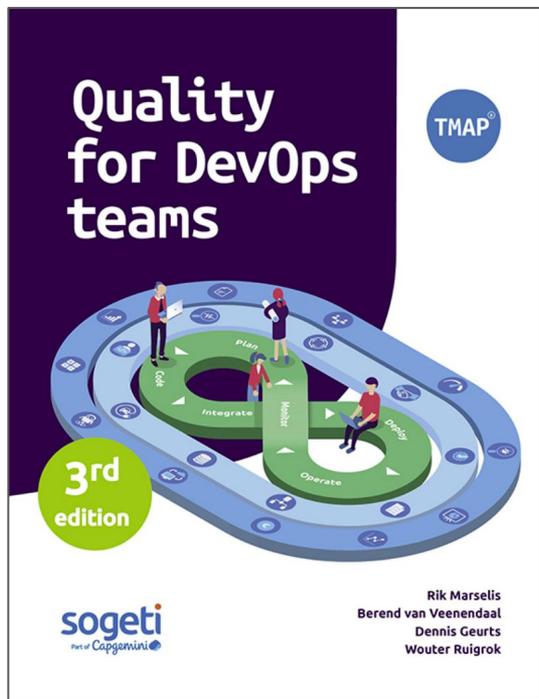
2001年からソフトウェア開発の品質管理やプロセス改善に従事

品質管理はQA戦略、QA組織の立ち上げ、テストの自動化の推進などを、プロセス改善では開発プロセスの再構築や、開発組織の文化づくりなどを経験

担当したドメインはデジタル家電、モバイルアプリ、スマホゲーム、HRプロダクトなどがあり、その中でリリース時の品質、サービス利用時品質、組織の品質など幅広く携わる

2023年8月より株式会社タイムーに入社

チーム全員が品質に責任を持つ



1.1 The DevOps IT delivery model

Since DevOps is the main IT delivery model in this book, let us briefly describe DevOps.

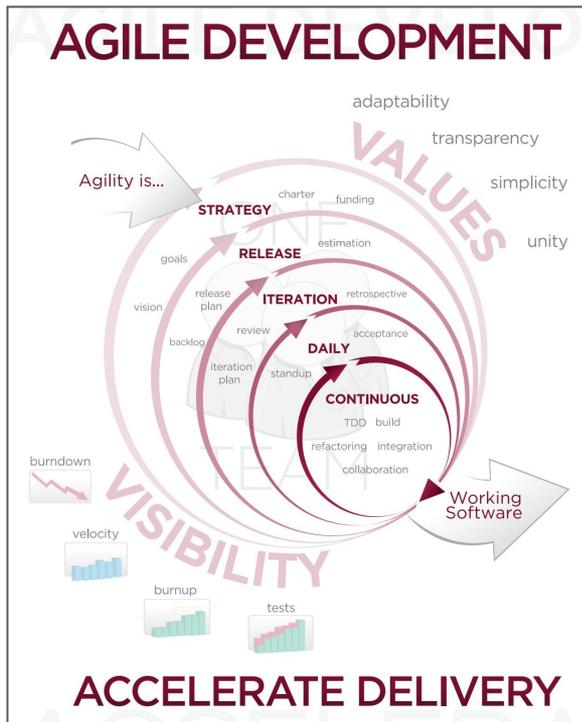
DevOps is a cross-functional systems engineering culture that aims at unifying systems development (Dev) and systems operations (Ops) with the ability to create and deliver fast, cheap, flexible and with adequate quality, whereby the team as a whole is responsible for the quality. Other areas of expertise, such as business analysis and quality assurance (including testing) are usually integrated in the team. A DevOps culture has an Agile mindset that can be supported/implemented by, for example, the Scrum framework.

参照元

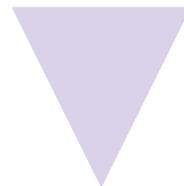
: https://www.tmap.net/sites/tmap/files/files/Quality_For_DevOps_Teams_previewversion.pdf

コンセプトの狙い

Timee



品質管理を含むチームやプロセスに関するあらゆるフィードバックを高速に回す



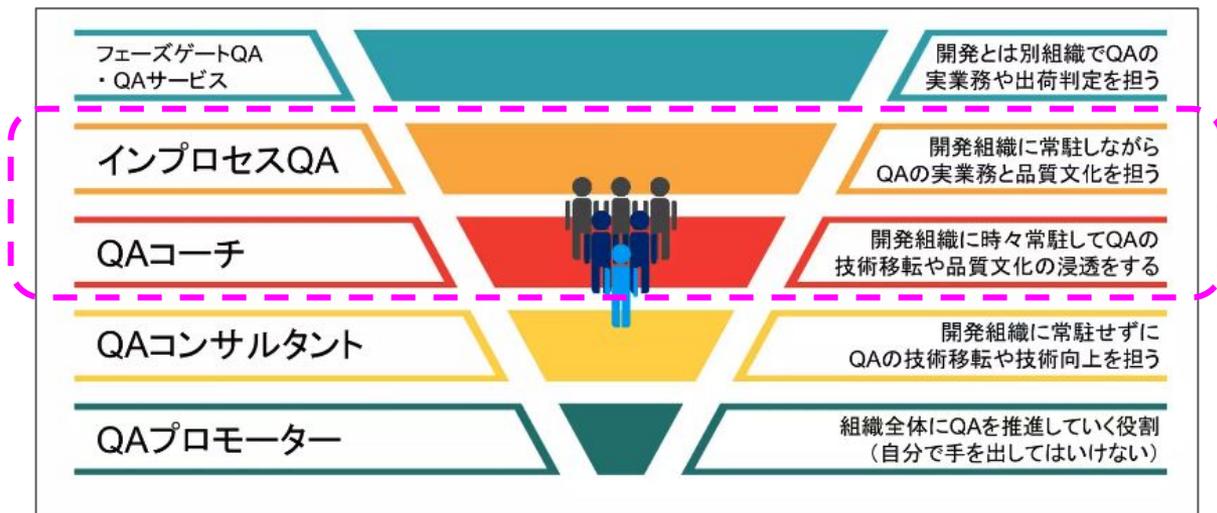
高速フィードバックにより
品質とデリバリーの両立を実現する

参照元：
<https://www.slideshare.net/nadiamul/versionone-agile-poster>

コンセプトにおけるQAの主な役割

Timee

QAファンネルにおける インプロセスQAおよびQAコーチをが主な役割

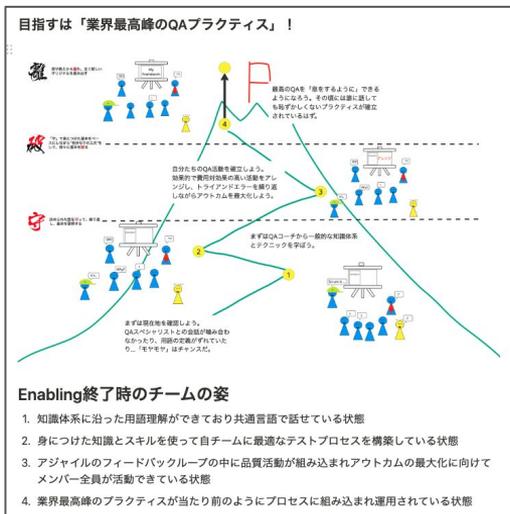
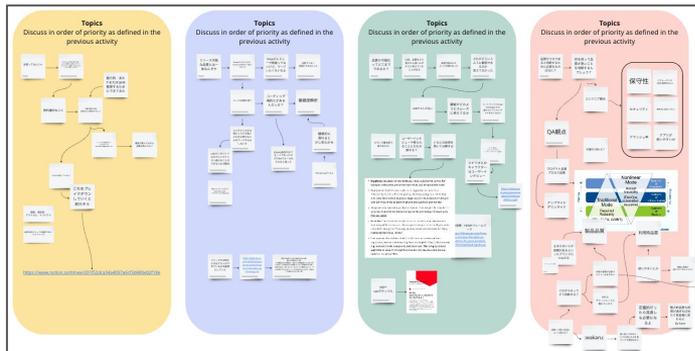


参照元：

<https://www.slideshare.net/YasuharuNishi/quality-management-funnel-3d-how-to-organize-qarelated-roles-and-specialties>

QAの活動事例-1 QAコーチ

チームで品質についてディスカッション
QAメンバーはアドバイザーとして参加



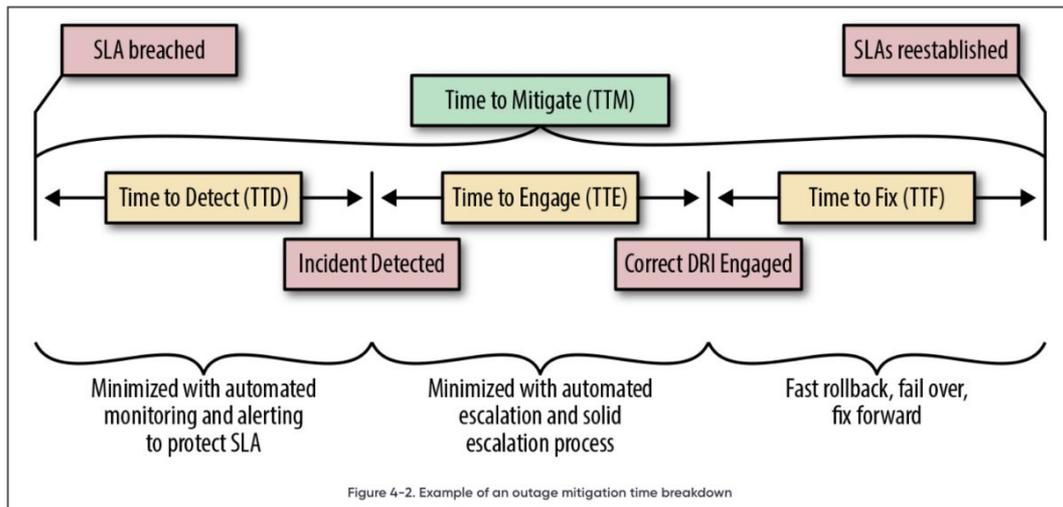
チームで目指すQAの姿をディスカッション
QAメンバーはコーチとして参加し
トレーニングの計画も担当

QAの活動事例-2 システム運営の品質管理支援

Timee

ポストモーテムの学びから
インシデント発生時間をできる限り
短くする計測方法※の支援

※発見・エスカレーション・修正の
どのプロセスに時間を要していたのか分かる計測



参照元：

<https://www.oreilly.com/library/view/seeking-sre/9781491978856/ch04.html>

これから取り組むこと-1

自動テストの活用

Timee

チームのテスト自動化を支援

定期的なE2E全パステストを
自動テストツールで運用



これから取り組むこと-2 リコンサイルシステムの拡張

Timee

給与支払い、利用料請求における決済リスクを低減する
リコンサイルシステムを拡張



Smart Watch のような品質管理

Timee



チームがいつでも数値で品質を確認でき、
改善が継続する品質管理

一緒にQA活動に取り組む仲間を求めています



<https://product-recruit.timee.co.jp/>

お力を貸してください！

